

【 11月4日(金) 室蘭民報(朝刊) 15面 】

ピエロに魅せられて



11月25日まで開催されている
鈴木強さんの絵画展

室蘭・鈴木強さん 初の個展

室蘭美術協会会員、全道展会友の鈴木強さん。室蘭市祝津町在住の個展「STAGE」が25日まで知利別町の製鉄記念室蘭病院せいてつギャラリーで開かれている。今回のために描いたF3号～S30号の7点が展示され、入院、通院している患者を癒やしている。

(坂本綾子)

製鉄病院、25日まで

笑顔を病院に届けて患者の心のケアをする道化師「ホス・ヒタルクラウン」にちなんで、鈴木さんがピエロを題材にして描いたシリーズ「STAGE」を展示。

鈴木さんは小さい頃にサーカスを見たことがきっかけで「ピエロの姿が頭に焼き付いて離れなくピエロの絵を描きたいと思った」と1992年(平成4年)から「STAGE」のシリーズを描き始めた。これまでに2人展、3人展は開いていたが、個展を開くのは初めて。

ピエロが黄色の服を着てサーカスに使ったランプや白いハト、ボールと一緒に描かれ、柔らかな表情を浮かべている。鈴木さんは「全て表情は違っているので、それぞれの絵を見ていろいろな感じ取ってほしい」と話している。土、日、祝日は休み。問い合わせは同病院経営企画課、電話0143・47局4336番へ。